

瓶の中につくられた、
世界―。

びんざいく

瓶細工

―大妻の至宝―



2024

9.30_[月]»12.13_[金]

開館日：月曜日～金曜日

休館日：土日祝日・学校記念日(11月20日〔水〕)

臨時開館：10月26日(土)・10月27日(日)・11月24日(日)

開館時間：午前10時～午後4時30分

入館：無料

〒102-8357 東京都千代田区三番町12 図書館棟地下1階
Tel. 03-5275-5739

URL <https://www.museum.otsuma.ac.jp/>

大妻女子大学博物館

写真：瓶細工「鳳凰」(松本錦連作 当館蔵)

OTSUMA WOMEN'S UNIVERSITY MUSEUM

びんざい

瓶細工

—大妻の至宝—

この細工の方法は普通世間では秘傳とか何とか申しまして極めて秘密にされてゐる事でございますけれども、私は多数の方と楽しみを分かつことに致さうと思ひまして—

大妻コタカ『家事文庫 手芸』



それは、「手芸」の到達点

大妻女子大学博物館には、大妻コタカの教えを汲む瓶細工が百点以上収蔵されています。

瓶細工とは、球体の胴に狭い口が付いた丸底ガラスコップのガラス瓶に、かがり毬などを入れた手工芸品です。瓶の口よりも大きな立体物が入っているため、観る者に不思議さを感じさせますが、その技法は秘され、限られた技芸家により口伝で伝えられてきました。

大妻コタカは、大妻技芸学校に壘(瓶)細工科を設置、また著作において瓶細工の製法を紹介するなど、その製作技術を広く一般に公開しました。

大妻の瓶細工には、造花やリボン、ビーズなどで飾られた毬や、故事から題材をとった人形、水引でかたどられた動植物、大妻学院の校章である糸巻きなどが入れられ、独自の発展を遂げました。そこには、裁縫、刺繍、つまみ細工、木目込み、塗など、日本の伝統的な手工芸の技法が惜しみなく使われています。

本展示では、大妻の手芸技術の粋を極めた瓶細工の数々を紹介いたします。瓶の中に表現された、一つとして同じもののない美の世界をお楽しみください。

ワークショップのご案内

瓶細工風チャーム作り

開催日：10月26日(土)・27日(日)
所要時間：1h程度
受付時間：10:00～15:30
※参加無料・予約不要



特設ページ公開中

博物館 HP では、
瓶細工の360°VR
画像をお楽しみ
いただけます



大妻女子大学博物館HP

◇最寄り駅

- ・JR 総武線「市ヶ谷駅」徒歩 10 分
- ・東京メトロ南北線・有楽町線「市ヶ谷駅」(A3 出口) 徒歩 7 分
- ・都営新宿線「市ヶ谷駅」(A3 出口) 徒歩 7 分
- ・東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」(5 番出口) 徒歩 7 分

※千代田区立九段小学校の道路を挟んで向かい側。図書館棟 1 階入口の右側にあるエレベーターで地下 1 階にお越し下さい。

◇公式 SNS

f 大妻女子大学博物館



@otsuma_museum



@otsuma_museum



◇地図



〒102-8357

東京都千代田区三番町 12 図書館棟地下 1 階

Tel 03-5275-5739

URL <https://www.museum.otsuma.ac.jp/>

大妻女子大学博物館

OTSUMA WOMEN'S UNIVERSITY MUSEUM

写真：左上 瓶細工「寺子屋」・右下 瓶細工「藤」（ともに三上草抄作 当館蔵）

